

Self Guide Map

セルフガイド マップ やまじろトレッキング 美山地区 宮島

城主川勝越後守政行とし、地域の秩序安定と外敵からの防衛拠点としてかつてあった島城跡（標高 403.5m）をめぐる山歩きコース。

難易度	★★★★☆(山歩き)
所要時間	120分
距離	約3.2km(往復)
高低差	約200m



京都丹波高原国定公園の概要

京都府の中央部、京都市、綾部市、南丹市、京丹波町にまたがる 68,851ha に及ぶ広大な区域が平成 28 年 3 月 25 日に国定公園として指定されました。

「芦生の森」と呼ばれる原生的な自然や希少な動植物を有しているだけでなく、「かやぶき屋根」といった特徴的な民家がある集落が共存しており、自然と寄り添う暮らしと伝統文化を長く世代を継いできた歴史を感じることができるのが特徴です。

また、京都の市街地に近接するため、日本海と都を結ぶ多くの街道が通る地域でもあり、まさしく自然と文化が融合したユニークな国定公園となっています。



一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会

T:0771-75-9030 F:0771-75-9040 <https://miyamanavi.com/>
京都府南丹市美山町安掛下 23 〒601-0722

協力 宮島振興会 美山宮島仙人の会

Copyright© 南丹市美山エコツーリズム推進協議会 2018 All Rights Reserved.

南丹市 美山町のおはなし

美山町は京都府のほぼ中央に位置し、南丹市の北東、京都市内から車で約 1 時間の場所に位置します。そこには豊かな自然と暮らしが織りなす日本の農山村の原風景が残っています。自然と人がつくりだしたこの景色を「日本の原風景」「昔話のあの景色」とよばれています。

美山町は、かやぶきの里に代表される日本の農山村の原風景と豊かな自然が息づく町として知られ、美山町東部に位置する三国岳（959m）山麓の由良川源流域の芦生の森「京都大学芦生研究林」の広大な自然林に囲まれています。美山町の面積の 96%が森林に覆われています。由良川とその支流に沿うように人々は集落をつくり、暮らしています。

気候区分では、美山町は日本海型と太平洋型の移行帯に位置し、多雨多湿で年間平均気温 12.9℃、年間平均雨量は 1,509mm と比較的雨が多く、冬季（12 月～ 2 月末）には積雪量も多い地域です。

天候は、日本海側気候、多雨多湿で晴天の日が少なく、積雪も比較的多い地域です。

美山町 宮島地区のおはなし

宮島地区は、南丹市役所美山支所のある、美山町の中心地で、美山支所の裏手には東西に流れる美山川、南北に流れる棚野川の合流地点があります。出合橋というコンクリート橋あたりから周囲を見回すと、この町ではめずらしい広がる田園風景を楽しむことが出来ます。美山町の中でも、数多くの茅葺き古民家が残る地域です。

美山支所から程よいところに築 150 年のかやぶき民家を再活用した「美術館」と「郷土資料館」があります。美術館では、館内展示作品の鑑賞とともに建造物も楽しむ事ができる他にはない趣のある美術館です。2 階の屋根裏も展示スペースとして活用し、かやぶき屋根の小屋組みやかやぶき屋根を裏側から間近に鑑賞することができます。「地域の宝」であるかやぶき民家の魅力を発信する芸術文化の交流拠点施設としての役割を担っています。

かやぶき美術館の隣にある「郷土資料館」では、昔ながらの農機具や戦前に使用されていた貴重な生活道具が収納され展示されています。館内では、水琴窟も施され美しい音色を聴くことができます。



探訪指南

1、危険な生き物や地形に注意

自然豊かな地域では、人にとって危険な生き物（ヤマビル、マムシ、スズメバチやブユ、ツタウルシ等）もたくさんくらしています。市販の医薬品や撃退スプレーなど対策を十分に行ってください。落石やがけ崩れなど危険な地形もありますので近づかないようにしてください。

2、天候の変化や日没時間に注意

山間部では、標高の高さ、地形の複雑さなどから目まぐるしく天候が変わります。荒天や気温の変化に備えてください。さらに山の影の影響もあり日没時間が早くなる場合もあります。

3、とっていいのは写真

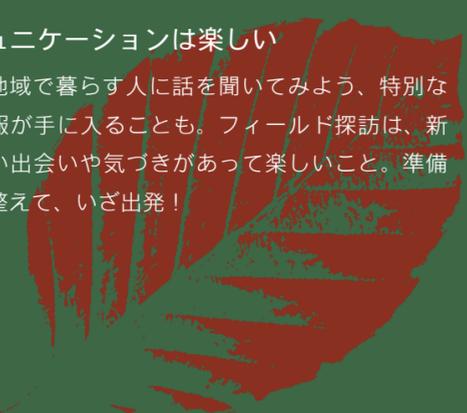
森の生き物たちの隠れ家やすみかである、枝や草花、石や土などをとらないでください。小さな自然の変化が、生き物たちのバランスをこわすこともあります。

4、ごみとトイレ

ごみは必ず持ち帰りください。景観を損ねるだけでなく、生き物たちの誤食や予期せぬエサ場になります。トイレ以外での用足しも危険が伴うばかりでなく、環境を荒らす結果になります。

5、コミュニケーションは楽しい

地域で暮らす人に話を聞いてみよう、特別な情報が手に入ることも。フィールド探訪は、新しい出会いや気づきがあって楽しいこと。準備を整えて、いざ出発！



Start やすらぎの広場 駐車場
特別養護老人ホーム美山やすらぎホーム
前の駐車場がスタート地点

① 里山の入り口「アカマツ」
やまじろトレッキング玄関の樹は、里山を代表するアカマツ。運がよければ、リスが松ぼっくりを食べた跡「森のエビフライ」が拾えます！

② 不思議な穴
上り坂の途中に落とし穴が！お城の貯水槽？ 攻めてきた敵を落とす落とし穴？ イノシシ用落とし穴？いろいろな説があります。どれだと思いますか？

③ 昆虫たちのレストラン
尾根に上がって少し過ぎたところに、樹液をたくさん出す「昆虫レストランの木」があります。ハチに注意です。

④ どんぐりの林
このあたりは、どんぐりのなる樹「アベマキ」「コナラ」が目立ちます。足元にもどんぐりがあるかも？

⑤ ツガとひこばえ
ふもとの集落からも見える一本のツガの樹。この辺りの樹の根元をよく見て。たくさん枝分かれしている。ここまでくれば、あと少し。

⑥ 尾根の木々
尾根の雨風に耐え、栄養に乏しい土に生える木々たち。この厳しい環境では、針葉樹が目立ちます。尾根の山道で、いくつかの針葉樹を見つけられるかな。

⑦ 最高点
標高 403.7m の頂上へ到達。山城の最高所で城跡でもあります。

⑧ 城跡
城主川勝越後守政行が治めたといわれ、その特徴から戦国時代後半まで使用されていたとされる「島城」の中心です。見晴らし台からは、麓の集落はもちろん、街道筋が一望でき、要所であったことが実感できます。

Goal 帰り道では
山側から見た里山風景で新たな発見を楽しんでください！

